

# 3月5日 ケルマデック諸島の地震

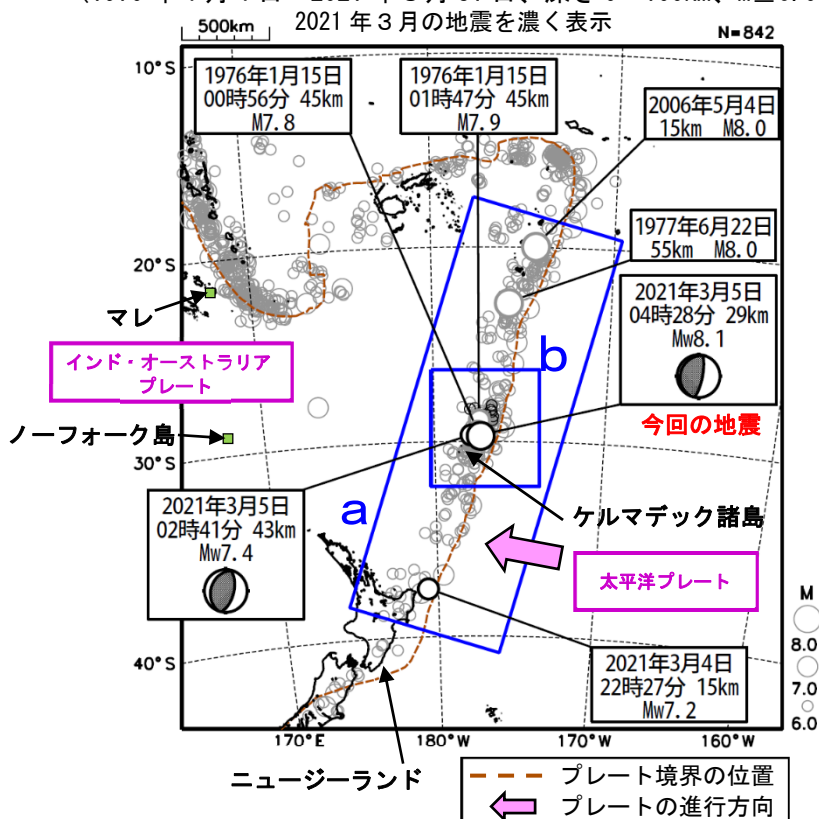
2021年3月5日04時28分（日本時間、以下同じ）にケルマデック諸島の深さ29kmでMw8.1の地震が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートとの境界で発生した。気象庁は、この地震に対して、同日04時59分（日本への津波の有無を調査中）と、10時08分（日本の沿岸では若干の海面変動あり）に遠地地震に関する情報を発表した。この地震によりマレ（ニューカレドニア）で1m\*\*、ノーフォーク島（オーストラリア）で0.56mなどの津波を観測した。日本国内でも、岩手県の久慈港や東京都の父島二見で最大19cmの津波を観測したほか、北海道から千葉県にかけての太平洋側沿岸で津波を観測した。

また、今回の地震が発生する約1時間50分前の02時41分に、今回の地震の震央近傍の深さ43kmでMw7.4の地震が発生した。この地震は、発震機構が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートとの境界で発生した。気象庁は、この地震に対して、同日03時24分（日本への津波の影響なし）と、04時10分（現地で津波を観測）に遠地地震に関する情報を発表した。この地震によりフィッシングロック（ニュージーランド）で0.31mなどの津波を観測した。

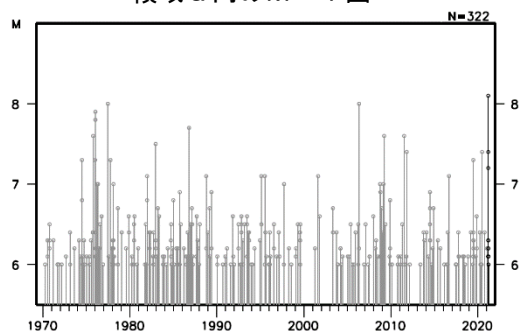
1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源周辺（領域b）では、M7.0以上の地震が時々発生している。

震央分布図

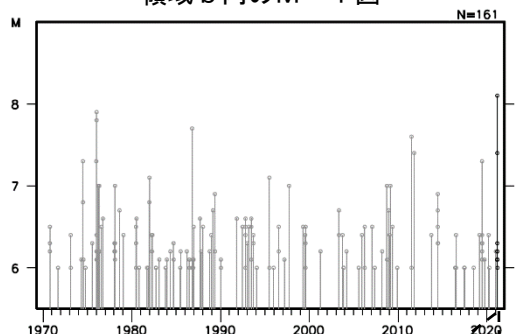
(1970年1月1日~2021年3月31日、深さ0~100km、M≥6.0)



領域 a 内の M-T 図

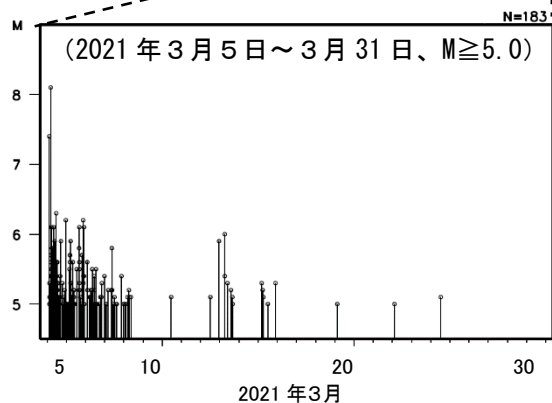
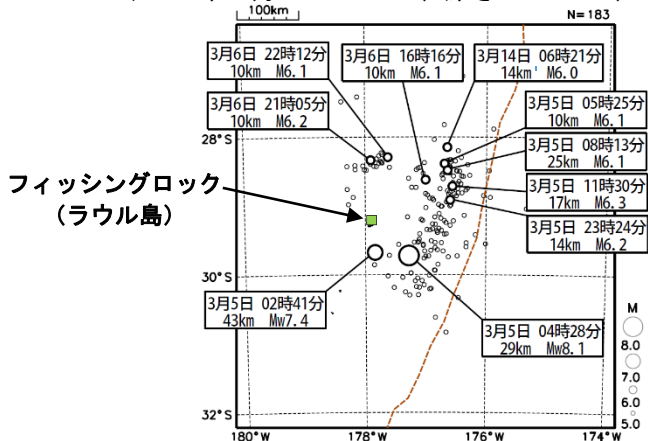


領域 b 内の M-T 図



領域 b 内の震央分布図

(2021年3月5日~31日、深さ0~100km、M≥5.0)



※本資料中、今回の地震及び3月4日22時27分、3月5日02時41分の地震の発震機構と Mw は気象庁による。震源データは2016年までは ICGEM、2017年以降は米国地質調査所 (USGS) による (2021年4月1日現在)。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) より引用。津波の高さは、米国海洋大気庁 (NOAA) による (2021年4月1日現在)。

※マレの津波の高さは目視による。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.